

第二十四章 名所舊蹟天然物被害調

久良岐郡

名	稱	所在地	管理者名	被害の有 無及程度	指定せられた 年月日	現在管理状態	被害後の施設
史稱寺	名寺	金澤村	金澤村	鐘樓全潰し伽藍破損	大正十一年十月十二日	内務省指定地なる放震後に於て復舊工事を爲す	復舊工事完成但し建物は寺院に於て修理するものさす
勝地	金澤八景	六浦莊村	六浦莊村	突出したる小丘な爲め三方に崩潰損害大建築物も全潰		全時住職相當施設を爲す計畫中	計 畫 中
九覽享	三分字	金龍院	金龍院				

橘 樹 郡

名	稱	所在地	山 緒	管理者名	被害の有 無及程度	指定せられた 年月日	現在管理状態	被害後の施設
史蹟	天然紀念物	向丘村		官有地にして村長之を管理す	なし		樹木の周圍に垣を繞らし掲示板を設置して其由來等詳細し村長管理の任當り村費にて負擔す計畫	なし
史蹟	千古松	長尾			なし		特になきも村さして保存の計畫	なし
天然紀念物	弘法の松	生田村	弘法大師此地に至りし地之を紀念すべく植ふたニ雜松	笠原啓次郎外四十一名	なし			

高 座 郡

蹟 史	蹟 史	蹟 史
碑 生麥英人の	御所臺の水	影 向 石
見町生麥	保土ヶ谷 岩 間	宮前村 東耕地興せる所
横切りたるを怒りて	文久二年八月二十一日島津三郎此地を過ぐる時英人の行列を過	同寺は曾行基の開基にして慈覺大師の再影
黒川 莊 三なし	保土ヶ谷 町なし	向 寺なし
なし	なし	計 畫 中なし
なし	造る 鉄力板にて屋根を	
(計 畫 中)	なし	

蹟 史	蹟 史	蹟 史	蹟 史	名 稱	所在地	由 緒	管理 者 名	被害の有 程度	現在管理状態	被害後の施設
塚 圓塚(大鼓)	(三塚)瓢塚	造の古 山)相模 飄塚(飄 葺	分相 寺僕 趾國		海老名村 國分字宿		海 老 名 村 標石顛倒	無及程度	本村に於て管理保	なし
場 海老名村 大谷字市	打越 海老名村 大谷字上	原 海老名村 國分字南					海 老 名 村 後圓部の 壊	大正十年 三月三日	史蹟として海老名 村に於て買収保存	なし
							海 老 名 村 後圓部の 壊		史蹟として全村に	なし
							三廻部喜三郎 上部崩壊		同村に於て有志者	なし
									に注意を興へ保存	

蹟史	寶國
清水寺千生 觀世音	國分寺銅鐘
海老名村 松原	海老名村 壹國分寺 境内
龍峰寺住職 龍峰寺住職	國分寺 墜落鐘乳 壹個損失
同寺に於て管理す	大正十二年八月三日
本堂二王門鐘樓假 修繕濟	國分寺に於て管理 なし

中 郡

蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	名
源實朝首塚	太田道灌 墳墓	鳴立庵	御野立所 紀念碑	名稱
東秦野村東 秦野村	高部屋村 高部屋村	大磯町字一 二八九大磯	淺瀬村高 森淺瀬	由緒
村玉垣其他 破損	倒潰	建物大破 碑石半數 倒潰	碑及玉垣 全潰せし も折れず	管理者名
				被害の有無及程度
				指定せられたる年月
	平素清潔にす	庵主をして 保管せしめ 町長之を監督 す	周圍の雜草 を薙り取り 清潔にす	現在管理狀態
	なし	町費を以て 復舊計畫	既に着手せり	被害後の施設

足柄上郡

名	稱	所在地	由緒	管理者名	被害の有無及程度	指定せられたる年月	現在管理状態	被害後の施設
川村土切碑	川村城趾	川村		磯崎彦平	倒潰せしも破損せず		本城趾一部分は芝生として保存せられ他の城廓趾は柑橋園となり各所有志者管理す	
橋本萬太郎碑	松田山町	松田山町		松田町神山有志小	破		復舊中	
最明寺蹟	松田子町	松田子町			決潰甚だし			
見晴の松 (一名篝火の松)	山廿度田	山廿度田		山田村長				
曾我梅林	曾我村	曾我村		柏木幸次郎 外四十名			各個人に於て樹枝剪定施肥をなす	
了全塚	上篠窪了村	上篠窪了村		地福寺住職 松野文英	全壊		住職之を管理し世話人所有地を整理す	
壹里塚	北中井田村	北中井田村					自然の儘	
鬼五道三郎の墓	中井澤村	中井澤村		須藤辰八轉	覆		常に掃除を爲す	
曲淵勝左衛門吉景の墓	中村村	中村村		支張寺	覆		常に掃除を爲す	

蹟史	蹟史		蹟史	蹟史	蹟史	勝名	勝名	蹟史	
藤原範茂の墓	文命堤	下田隼人碑	矢倉澤	濱居場城跡	春日山城跡	酒水瀧	中川温泉	城山	天然紀念物 二保村
福澤村	福澤村	南足柄村	北足柄村	北足柄村	春日山	北足柄村	三保川村	三保佛村	二保村
福澤村	村民	ト田助次郎	末光義雄氏	鈴木善太郎	特になきも所有者 小澤廣太郎氏に於 て管理す	別になし	井上近次郎	寶生神社	帝室林野管理局の 所有に屬す
村墓石其他倒潰	堤に龜裂を生じ老 朽倒れ石壘崩壊す		石垣土砂少しく崩 れしのみ	多少の山崩あるも 大部分の形を變ぜ ず	震災に因り地形を 變じ原形を止めず	四側に茂れる樹木 は山崩と共に落ち 山骨現はれ美觀を 損したるも水の落 下には異状なし	家屋倒潰		
學校兒童墓の手入 を爲し墓前祭を行 ふ(參拜)	毎年五月十月の二 回神社の祭典を行 ひ邊堤の崩潰を防 て復舊事業後に於 て行ふ	後裔に於て復舊の 見込	所有者に於て管理 す	史蹟として管理な し		夏季に附近の人に 於て掃蕩をなす 特になし	再建中		

蹟史	名稱	所在地	管理者名	被害の有無及程度	指定せられたる年月	現在管理状態	被害後の施設
北條氏政氏 照兩氏の墓	小田原緑 町一丁目	永守居久那須操寺	崖上より墜落		別になし	計画中	

足柄下郡

名稱	所在地	由緒	管理者名	被害の有無及程度	指定せられたる年月	現在管理状態	被害後の施設
天然紀念物 川和の大杉	都田村 川和神社 境内		同社	なし		根元を踏み附けざる様木柵を施す	なし

都筑郡

蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史
岩原城址	天康景の墓野	大森信濃守墓	足形社	二宮先生地
岡本原村	岡本村沼 田西念寺 境内	岡本原村塚	岡本村炭焼所	櫻井村東 柏山宇山 道下
	西念寺	長泉院	炭焼所部	二宮長太郎
	墓石轉倒	墓石轉倒		周囲の石垣全部倒 潰し石碑一基を立 ちたるまゝ低下す
	常に掃除手入	附近清掃	清掃整頓を爲す	其儘にあり
	近く復舊の見込	復舊計画中		

地名	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史
強羅遊園地	鷹巢城趾	跡 夢窓國師舊	大閣石風呂	屋 北條幻庵 舖 跡	陣屋跡	家康陣場趾	小田原城趾	墓 北條五代の	曾我兄弟 跡	平淺輔郷 墳墓
宮城野村強羅	温泉村底倉	足柄村下郡 温泉村堂ヶ島	温泉村底倉	足柄村久野字森	足柄村萩窪	足柄村今井	小田原町一丁目	湯本村湯本	下曾我町 曾我谷津字城前	小田原町十字字 四丁目八三五
小田原電鐵株式 會社		宮田藤左衛門	澤田 銚義	官有地にして別 になし	共有地	足柄川 亮吉村	宮内省	早雲寺	城前寺住職	全身寺住職 町
建物は殆ど半潰す なし	なし	建物及塔倒潰石垣 石段崩壊		小祠は倒潰し他は 其儘存す		社殿石碑等半潰	建物は殆ど倒潰し 石垣又悉く崩壊せ り	全部倒潰	全潰破損	なし
なし	なし	同氏に於て適當に 管理す	別になし		耕作地となしつゝ、 あり	なし	宮内省に於て管理 せらる	住職に於て平素管 理す	なし	墳墓に多少の修理 を加へ命日なる五 月二十二日追悼會 を行ふ
目下其儘にあり	なし	目下施設中	土砂の崩潰したる ものを取除く計畫 はあり破損なし	目下村に於て計畫 中	なし	計畫中		なし	應急修理は施され たり	なし

蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史	蹟史
賽の河原	六道地藏	多田満仲墓	二十五菩薩	大江廣元墓	萬卷墓	箱根關趾	關所跡	再遊碑 ルホン將軍	城山城趾	新田義則朝臣碑	大和武尊碑
元箱根村	元箱根村	元箱根村	元箱根村	元箱根村	元箱根村	箱根町	仙石原村字七四	宮城野村木賀	宮城野村碓井峠	宮城野村	宮城野碓井峠
元箱根村	興福院	元箱根村	元箱根村	元箱根村	箱根神社	内務省	勝俣嘉雄	鹽原又策	宮城野村	日比翁助	溫田泉村
石垣島居地藏等大破損	石垣大破損	少し	なし	なし	なし	石垣破損	なし	なし	なし	轉覆	倒る
						大正十一年三月八日		なし			
	平素は寺院に於て管理す			現状のまゝ	神社に於て管理す		水田さなれる耕作地	相當管理せられつゝあり			
現状の儘	現状の儘	現状の儘	なし			復舊工事完了		なし	なし	舊に復し管理す	計畫中

蹟史	蹟史	勝名		蹟史	蹟史
土肥實平父の墓	小道地藏堂	龍宮岩	鷓鴣窟	大閣一夜城	曾我兄弟の墓
土肥村城堀	吉濱村吉濱	福浦村カッラ	眞鷓鴣村鷓	早川村梅ヶ窪	元箱根村
城願寺住職	英潮院住職	なし	特に管理するものなし	小田原十字	元箱根村
輕	半潰	全部崩潰して僅少の岩石を残す	窟上の老松(目通文餘)倒れて海中に入り古形を損す	石垣用と認むべきもの崩壊	少破損
同寺に於て管理す	寺院境外佛堂とて同院にて管理す	なし	特になし		
復舊済	同院に於て修理せ	なし		現状の儘	現状の儘

愛 甲 郡

蹟史	蹟史		名	所在地	由	緒	管理者名	被害の有程度	指定せられたる年月	現在管状態	被害後の施設
城山城趾	田代古城趾	依知神社の公孫樹	依知村	依知村	傳へて建仁二年源頼家征夷大將軍となるに及び紀念として植栽せしものなり		依知村上依知有	なし	なし	樹容端然としてあり管理方別になし	なし
愛川中原	愛川村田代	北條氏康内藤下總守秀勝及其の子秀行の二代在城す	愛川村	愛川村	北條氏康内藤下總守秀勝及其の子秀行の二代在城す		愛川村田代伊從仲太郎外二十名	なし	なし	別段なし	
字下細野	北條氏康の臣内藤下總守秀勝の居住せる處なり	田信玄に攻め落さる	愛川村	愛川村	田信玄に攻め落さる		愛川村半原	なし	なし	別段なし	

津久井郡

蹟 史	蹟 史	蹟 史	蹟 史		
御幸山	一乘尼寺の廢蹟	愛甲三郎秀隆の邸址	毛利の邸趾	史蹟及名勝	天然紀念物 妻田の大樟
南毛利村 愛名	南毛利村 恩名		煤ヶ谷村 御所垣	小結村飯 山字寛ヶ 澤	妻田薬師 境内
此地の標高百四十六米、四方展望佳なり。明治十四年四月機動演習の際、天皇の同月三十日此山に行幸親しく對抗運動を天覽し給ひし地なり。	創立年代詳ならず一乘尼寺は國分尼寺の謂なるべく、今此附近に布目瓦等の破片の出土を見るものなり。太子の建立せるものなり。	鎌倉時代に於て名高かりし愛甲三郎秀隆の常住地たり。近時古瓦等を掘出すことあり。	本地は愛甲郡の領主毛利太郎景行及其の子太郎永曆の頃より建保元年までの居住地たり。	白山は往古山嶺に泉井あり。井山と稱す此山嶺に泉井あり。より此名を得たるものなり。開基に係る金剛寺前に安達藤九郎盛長の墳墓あり。	天平寶字五丑年良辨僧正此地に往詣せられ醫王堂に通夜せし時夢に見たるものなり。猶武田晴信小田原攻撃の時兵火に罹り一部焼毀したり。
南毛利村愛名	南毛利恩名和田 仲造外數人	南毛利村	愛甲郡煤ヶ谷村 及内務省所有に して土地有志管 理す	小結村龍藏神社 及金剛寺	遍照院
特種のものなし		別になし	保護會設置計畫中	青年團に於て櫻樹を植ふ風致の向上に力む	

第二十四章 名所舊蹟天然物被害調

勝名	名
石老山	稱
川澤内 嵐郷 字村 西寸	所在地
	由
	緒
顯鏡寺住職 岩本惠鏡	管理者名
	被害の有 無及程度
	指定せら れたるも の、年月
岩石名木等に立札 をなし樹木等伐採 を禁じ掃除をなす	現在管理状態
特になし	被害後の 施設